

教科名	技術	週時間数	1	学年	1
使用教科書 及び 副教材等	教科書 新しい技術・家庭／技術 分野 東京書籍				

指導の重点 (確かな学力)	「課題発見能力」 「課題解決力」 「知識・技能」		
学習のねらい	よりよい生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、生活の中の様々な課題を解決する方法を学ぶ。実習をとおして体験的に学習を行い、その過程で生活を工夫し、創造する能力やものをつくる技術を身につける。そして、学習した知識や技術を応用して、自分の生活に取り入れようとする態度を身につける。		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントをまとめながら、生活と技術のかかわりや技術の役割について考える。 ・実験・実習において、準備・作業・片付け等、班で協力して進める。 ・実習において、工具を適切かつ安全に使用し、工夫しながら製作に取り組む。 		
定期考査	出題方針	「材料と加工」においては、製品に適した材料について、木材の名称や特徴、「製品の製作」については、実習で行う製作工程について、組み立てや道具の使用について出題する。 また、テスト1週間前にテストについて必要な事項を記載した補足プリントを配付する。	
	範囲 (予定)	1・2学期中間	なし
		1学期期末	材料と加工の技術
		2学期期末	材料と加工の技術
学年末	材料と加工の技術		
評価観点 評価方法	知識・技能	授業の取組、定期テスト、作品	
	思考力・判断力・表現力	定期テスト、プリント・レポート、作品	
	主体的に学習に取り組む態度	授業の取組、振り返り等レポート、作品	
学習方法	各課題についての説明をよく聞き、個人や班で実習を進める。 授業の最後にまとめる授業の振り返りを徹底し、学習内容の確認をする。 特に実習面においては、「安全」に作業するための必要事項を確認する。		

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	材料と加工の技術	技術とわたしたちの生活	2	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の進歩による生活の変化 ・技術の発達とエネルギー利用
	5	材料の特性	材料の特性を調べよう 木材・金属・プラスチック	3	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴と特性
	6	問題を解決する工夫を知ろう	製品開発の工夫 実習を安全に進めるために	1	<ul style="list-style-type: none"> ・製品開発の視点
				2	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の安全管理
7	製作品の設計・製作	製品の構想	1	<ul style="list-style-type: none"> ・製図（等角図） 	
			1	<ul style="list-style-type: none"> ・製図（キャビネット図） 	
			1	<ul style="list-style-type: none"> ・製図（第三確報による正投影図） 	
2	9	材料と加工法	製品の決定 じょうぶで、使いやすい製品 接合や仕上げの方法	1	<ul style="list-style-type: none"> ・構造の検討
				2 2	<ul style="list-style-type: none"> ・機能の検討 ・接合や仕上げの検討
3	10	材料と加工法	製作	2	<ul style="list-style-type: none"> ・部品表の確認と材料の準備 ・製作工程
	11			<ul style="list-style-type: none"> ・けがき ・切断 ・部品加工 ・部品の検査と修正 ・組み立ての確認 ・接合、素地みがき ・まとめ 	
	12				3
	1				5
	2				5
3	3				
			組み立て	3	
				1	